

岡山西部総合公園整備事業ニュースレター

Vol. 02 岡山西部総合公園

公園の新しいサービスを考えるワークショップ

●岡山西部総合公園 第2回 公園の新しいサービスを考えるワークショップを開催しました。

西部総合公園“公園の新しいサービスを考える”ワークショップ、第2回目は、“公園全体や周辺をつなぐ仕組みを考える”をテーマにワークショップを開催しました。

前回に引き続き、岡山で活躍するNPOの方々や地元企業の方、公園に興味のある市民の方、学生さんに加え、大学の教員の方々にも参加いただきました。公園全体の仕組みや周辺とどのようにつないでいくかをテーマにみなさんで意見を出し合い、とても有意義なワークショップとなりました。

日時 : 平成28年2月6日(土)
16:00~18:00
場所 : クラブン株式会社 岡山支店
参加人数 : 19人

◆ 当日のスケジュール ◆

- 16:00 前回のワークショップのふりかえり
- 16:05 公園全体をつなぐ仕組みや体制の先進的なマネジメント事例の紹介
- 16:25 アイスブレイク
- 16:35 ワーク（意見抽出）
- 17:25 発表
- 17:40 とりまとめ
- 17:55 おわりに

●前回のワークショップのふりかえり

前回のワークショップでは、公園のゾーンごとにどのようなサービスやプログラムがあると良いかについて、3班に分かれて意見を出し合いました。

「芝生広場」ではヨガや体操・快適に過ごすためのレンタルサービス、「見晴らしの丘」では初日の出を見る・天体観測をする等、「子ども広場」ではプレーパーク等の遊びに関するアイデアや、イベント広場ではマルシェや地ビール祭等のイベントプログラム、さらに管理棟についても使いこなすためのプログラムや設備等の意見がありました。参加者の意識が高く、各ゾーンの特色をそれぞれ活かした意見が多く出ていました。



●公園全体をつなぐ仕組みや体制のマネジメント事例の紹介

ワークに先立ち、公園全体をつなぐ仕組みや体制の先進的なマネジメント事例として、“活動団体を支える仕組み”、“広場をコーディネートする専門家”、“水辺版エリアマネジメント”、“自発的な活動を資金面から支える仕組み”、“BID（ビジネス活性化地区）型公園運用”の5つの先進事例を紹介しました。これからの公園運営は、“活動団体が活躍する仕組みを整える”“行政と民間、市民がWIN & WINになる、公園活用と還元”の仕組みが必要となってくるということを説明し、ワークの考え方の参考にしていただきました。



BID型公園運用
ニューヨーク フライアントパークのBID制度
(Business Improvement District、ビジネス活性化地区)



ニューヨーク フライアントパークのBID制度

●ワーク（公園全体や周辺をつなぐ仕組みについて）



今回は、公園全体や周辺をつなぐ仕組みについて意見を出し合いました。“活動団体やボランティアを支える仕組み”、“みんなの意見を反映する仕組み”の2つのテーマは事前に設定し、ワーク①で各班で独自のもうひとつのテーマを決めました。そして、ワーク②でそのテーマ（仕組み）に必要な項目についての議論を行い、各班それぞれ特色のあるテーマが設定され、内容の濃い意見が多く出ました。



発表の様子 1班



発表の様子 2班



発表の様子 3班



会場の様子

Vol. 02 岡山西部総合公園

公園の新しいサービスを考えるワークショップ

市民意見のまとめ

今回のワークショップで出されたご意見を紹介します。公園全体や周辺をつなぐ仕組みなどについて、多くの意見をいただきました。

活動団体を支える仕組み（共通テーマ①）

行政手続きの簡略化

- ・申請のハードルを下げる（管理棟で処理を済ませられる）
- ・簡単に使えるというイメージづくり
- ・年代別にサービスを変える

管理棟の担当者を「公+民」メンバー

- ・窓口を行政と民間にして使いやすくする
- ・窓口を民間にして（NPO）使いやすくする

収益を生み出す仕組み

- ・クリスティアバイク（※）に広告で収益
 - ・クリスティアバイクで売出しさせて一部収益
 - ・民間を入れて収益を考えさせる
- ※前輪の間にリヤカーのような大きな箱がついている、デンマークコペンハーゲンにあるクリスティアン発祥の荷物輸送用三輪自転車。

使いやすさ

- ・ハードを備えて安く貸す
- ・自由かつ安全に使えること
- ・手間が少ない簡素な仕組み
- ・一定のプログラムを受けた団体なら参加できる

意見を反映させる仕組み（共通テーマ②）

事前のヒアリングをして設備反映へ

- ・民間を入れて収益を考えさせる
- ・行政は団体に使いたいものをヒアリングしてから買う
- ・かっこいいもの新しいことがしにくい
- ・スムーズに、実現できるのがよい

コーディネーター

市管理者立会い

主催者間の話し合い

子ども、未来へつなぐ公園（1班テーマ）

公民館を利用しにくい→公園へ

- ・子どもを遊ばせる場所がない（イベントをすると要る）
- ・西小学校グラウンドが狭い

子ども預かり（管理棟サービス） 受益者負担

- ・保育待機児童のためのサービス
- ・子どもの年間パスポート（ICチップ）
- ・年会費（親から） 一時保育
- ・保育園がここ（公園）を借り、貸し出せる仕組み
- ・地域は限定させないサービスが良い

問屋町と公園の連携

- ・オレンジホールと連携

文化の多様性（外国人とのつながり）

- ・外国の人の交流も楽しめる 親交

関わり方

- ・ガッツリ関係せずイベント参加したい

広報・プロモーション

- ・公園の使い方が皆に知られるようになりたい

その他

- ・丘があるのが良い 電車が見える

ここでしかできない体験ができる仕組み（2班テーマ）

①ルールづくり

■禁止事項を少なく

■市民意見でルールをつくる

- ・公園運営議会
 - ①地区代表
 - ②幼・小・中・高・大の各代表
 - ③他国からの在任者代表
 - ④大人代表
- ・使用ルールづくり
- ・成長し続ける公園
- ・育つ公園
- ・後始末をしっかり
- ・公園管理（植物）のボランティア講座
- ・団体の登録
- ・公園を利用したい市民団体のネットワークづくり → 運営の仕組みを考える
- ・禁止事項を少なくしていくために、市民がつくるルールづくり、ワークショップ。火を使うなど・

②アイデア募集

- ・岡山発！にこだわる
- ・とにかくアイデアを募集する
- ・地域性を考えたイベントを企画
- ・「体験」を提案する主催者を募る
- ・クラフト・ダンス・ヨガ・自然観察などの先生
- ・実際に行ったことを動画で撮影し、オフ会やネット配信をする
- ・プレイベント

③ハード面

- ・芝生回復の方法
「鳥取方式」の芝生・管理が楽、コストが安く走り回れる
- ・自己責任ゾーン（治外法権）
- ・自由に活発な活動に耐える設計

④資金確保

- ・エリアマネジメントによる収入
- ・管理棟にも充てる

人と人のつながりを支える仕組み（3班テーマ）

イベント同士をつなぐ

■広報：ウェブのポータル化

- ・プロモーション
- ・こういう使い方ができる、ということを知ってもらう
- ・テーマを設定し専門家のサポート、ネットのプロモーション
- ・HPでの報告 日々情報を更新していく、スピード
- ・団体のことを載せるポータルサイト

■コーディネーター：主催間をつなぐ人、公園のこと、行政のこと知っている人

- ・異なるイベント つなぐ、異文化
- ・イベント団体をつなぐ専門家
- ・教える、教えられる交流
- ・親向けイベント、子向けイベント
- ・人の協力がなくと成立しない
- ・2つ同時にイベントをひらく→予期せぬつながり
- ・（イベントなど）間をつなぐ調整役
- ・コーディネーター（HP）
- ・色んなことを良く知っている人
- ・立川子ども未来センター（のような仕組み）
- ・イベントの主催者同士をつなげる
- ・人と人がふれあう（昔からいる人ばかりでなく、新しく来る人多）つながり
- ・児童の為の（小学生くらいまで…）+親

イベント企画

- ・ここでしかできないイベント 質の良いイベント
- ・イベントとの間を BeerGarden でつなぐ
- ・クラフト、公園でできるアート
- ・鉄道ファン（てっちゃん）有料イベント
- ・曜日別イベント（月：子ども、火：○○…）

ハード

- ・公園のしつらい（しつらえ）→人と人を自然とつなぐ
- ・ツリーハウス（利用者がつくる）→自慢できる、親同士…など
- ・駅から歩いてくる人の視点・住んでいる人が使いやすい